

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

7月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

「看護の日」のイベントを開催しました

看護の基礎を築いたナイチンゲールの実績を称え、生誕日の5月12日を「看護の日」と制定し、全国で看護に関する様々なイベントが開催されました。当センターでも5月23日に玄関ホールにて「看護の日」のイベントを開催しました。

当日は、当センターと包括連携に関する協定を結んだ城北高校の看護専攻科の学生さんも参加し、当センターの新人看護師を含め会場が若い熱気で溢れていました。イベント内容は、血圧測定・身長・体重・体脂肪測定など健康ブースに加え、健康手帳や糖尿病に関するリーフレットなどの配付も行いました。各ブースでの測定後に、看護師から正常値や生活での注意点などをお話しし、興味深く聞きながら聞かれる参加者もおられました。参加される皆さまがご自身の健康を考える良



い機会となり、私たち看護師も嬉しく思いました。

参加された皆さまには、当センターが掲げる「地域住民の生命と健康への貢献」の実践の一部を体験して頂けたかと思えます。参加者の皆さまからは、「今後、若い方がいろいろな病院で活躍されるのが楽しみです。」「日頃の健康、運動を改めて考えるきっかけをいただきました。」「スタッフのみなさんに笑顔で対応していただき、とても良かったです。」などの嬉しいお言葉をいただきました。城北高校からも「病院看護師がどのように地域住民と関わっているのかがわかり良かった。」という声が聞かれました。

2時間という短い時間でしたが私たち病院スタッフも地域の方々や城北高校の看護学生さんと触れ合うことができ、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。次年度も皆さまのお声を参考に開催を継続していきたいと思えます。

(文責：地域医療連携室 看護師長 宮園清子)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

- 看護の日の「記念行事」を開催しました！… P 1
- 熊本大学大学院保健学教育部修士課程を修了しました!… P 2
- 城北高等学校との包括連携に関する協定締結… P 2
- 医療最前線 (148) …………… P 3
- 第 74 回公開講演会のご案内 …………… P 3
- 外来担当医表 (7月) …………… P 4

熊本大学大学院保健学教育部修士課程を修了しました！

2023年3月、熊本大学大学院保健学教育部博士前期課程を卒業し、修士（保健学）の学位を取得いたしました。修士の取得には2年間で最低30単位と修士論文の提出が求められます。大学院ではCTを専門とする研究室に所属しており、『Evaluation of liver fibrosis grade in CT』のタイトルで修士論文をまとめました。

論文の概要としまして、肝切除術前ダイナミックCTを活用し、肝線維化のグレード評価における最も一般的な細胞外容積分画（extracellular volume fraction：ECV）と、CTより得られるその他の指標を活用して、線維化程度（F0-F4）のグレード評価について精度を検討しました。

肝線維症の正確な評価は、慢性肝疾患患者の最適なりスク層別化と治療計画に不可欠で、一般的には侵襲を伴う肝生検や血清データ、細胞外容積分画（ECV）を用いた線維化の推定方法が行われています。ただし、肝生検は侵襲的で合併症、サンプリングエラー、観察者間の変動があり、超音波やMRIを用いたエラストグラフィは確立されたアプローチではありますが、肝線維症を評価する精通した技術者が必要で、導入コスト面からも限られた施設でのみ検査可能となります。そのため、非侵襲的で再現性があり、広く利用可能な代替案の開発は、潜在的に大きな臨床的有用性を有する可能性があります。肝の線維化程度（F0-F4）によって患者予後や患



者管理が異なり、一般的なCT検査でグレード評価できる意義は大きいと考えられます。

今後は、博士前期課程での研究内容をより発展させ、最終的に博士号取得を目指します。博士後期課程の3年間で、dual-energy CTやDeep Learning Reconstruction：DLRを用いた線量低減と画質改善についても検討し、国際学会での発表にも挑戦したいと考えています。現在、11月にシカゴで行われる北米放射線学会（RSNA）に2演題投稿中で、採択率3割程度と狭き門ですが、良い結果となるよう引き続きご指導の程よろしくお願い申し上げます。

（文責：放射線科 診療放射線技師 吉田 健一郎）

城北高等学校と包括連携に関する協定を締結しました

学校法人松浦学園城北高等学校と山鹿市民医療センターは、医療に関するさまざまな活動に連携協力して取り組むため、令和5年5月12日の看護の日に包括連携協定を締結しました。

本協定は、地域医療人材の育成や地域保健福祉活動の推進を主な目的に「看護、栄養管理、社会福祉の教育及

び研究」「人材の育成、確保」「地域医療及び地域保健福祉活動の推進」などの項目について、連携協力するものです。

当センターは、「地域住民の生命と健康への貢献」を基本理念に、地域密着型の病院として地域に根差した医療を提供すると同時に、重症の患者さまに高度な医療を提供し続けることを使命としております。

この度の協定の締結を機として、地域の拠点病院として一層の医療環境の充実を図り、仲介いただいた山鹿市を加え、両者の連携をより強化し、地域に役立つ人材の育成を行うなど、地域医療の更なる充実・向上に繋げてまいります。

【協定項目】

- (1)看護教育（実習を含む）及び研究に関すること
- (2)栄養管理教育（実習を含む）及び研究に関すること
- (3)社会福祉教育（実習を含む）及び研究に関すること
- (4)人材の育成、確保に関すること
- (5)地域医療及び地域保健福祉活動の推進に関すること等

（文責：事務部長 木村 隆男）



連携協定を結んだ（左から）竹原英治 城北高等学校理事長、別府透 山鹿市民医療センター病院事業管理者、立会人の早田順一 山鹿市長

医療最前線 (148)



SAS診療2023

睡眠時無呼吸(SAS)外来
坂田 和子

CPAPが保険適応になり今年で25年、SAS診療の診断、治療の進化は著しく、また近年CPAPのフォローにおける遠隔モニタリングは特筆すべき事項です。現在のSAS診療は以前と比べますと隔世の感があります。現在の当科のSAS診療の実際についてサマリーしてみます。

今回は、SAS外来で扱う睡眠呼吸関連疾患のうち、閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)に限定で行いました。

◇初診～検査

睡眠中の呼吸停止の症状でSAS外来受診されると、まず問診や診察からOSASが疑われる症例では、外来にて簡易型睡眠時ポリグラフ(PSG)を行います。家庭で施行するため極めて実際の日常に近い検査が可能です。簡易型PSGでは睡眠中の呼吸、いびき、酸素飽和度、脈拍、体位、さらに呼吸努力センサーを付加すれば、中枢性睡眠時無呼吸(CSAS)の関与についても検査ができます。入院で精密PSGを行えば睡眠脳波にて睡眠の深さも検査でき、他の睡眠関連疾患の診断に有効でOSASの場合は必要かつ十分と考えます。例えば、職業ドライバーで診断も治療も急ぐ場合には、簡便な機種を使用します。当科では患者様に合わせて検査機器を選択し検査を行い、診断後に患者様の同意があれば保険適応でCPAP導入となります。

◇治療

重症度、年齢、体格等から、CPAPマスクを選定します。CPAPは多々あり、いずれも十分な機能を有しております。マスクは初回導入時でも比較的慣れやすく、口呼吸から鼻呼吸に移行しやすい鼻マスクを推奨しております。マスクは、のちに患者様のご希望に合わせ変更可能です。導入直後は、鼻マスクが気になったり、いびきで口が開いているため、口からのリークで苦しかったり、すぐ外されるケースもありますが、慣れてきますので、眠りに就く時は必ず装着することを約束し、就寝中に外しても再装着はしなくても良いとしております。3週間ぐらいを目途に自分のペースで使用すると、CPAPをどのくらい使用すれば効果的かがわかるので外来予約診察時に患者様から使用感など聞き、条件の調整を行います。

◇CPAPフォロー

基本、月1回の受診時にSDカードやUSBメモリなどを持参いただいて外来フォローをします。CPAPメーカー独自の遠隔モニタリングシステムを使用するためメーカーごとの契約が必要ですが、患者様の使用状況をモニタリングできますので安心安全に導入可能です。また、予め使用状況がわかっているため外来の煩雑さが減り、診察の充実にも繋がるようです。さらに、当科で導入後一時的に管理指導を行い、CPAP治療に慣れてこられれば、月1回程度かかりつけの医療機関でCPAP管理指導いただくことが可能です。

以上が当科の最新のSAS診療の概略です。日常のご診療の中でSASを疑われましたらご紹介いただけますと検査、診断を行い、必要時はCPAP治療導入、CPAP治療が安定しましたら、ご紹介元で管理指導ができますのでお気軽にご紹介ください。登録医療機関の皆様のSAS診療のお手伝いが出来たら幸いです。

第74回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
28. 発熱

下記により第74回公開講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和5年7月14日(金) 19:00～
形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場：オンライン参加 / Zoom ミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター
演題：「当センターにおける胆のう炎の内科的治療」
司会：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 先生
演者：山鹿市民医療センター
消化器内科 上野 茂紀 先生

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから御参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/92662690081>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 926 6269 0081

パスコード : 988782



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」を御入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 深水、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

7月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※濱田 昌平	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 * 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

7月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	宮本 英明	毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	7/3(月)、4(火)、10(月)、11(火)、18(火)、24(月)、25(火)、27(木)、31(月)	
P E G 外来	担当医	毎月 第2水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約制)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>